

愛知県・京畿道 高校生交流事業



一宮西高校 丹羽翔子

～はじめに～

『韓国の人とはとにかく親切！！』

これは私が今回の派遣を通して1番感じたことです。韓国といえば、ドラマやk-pop、キムチ、チマチョゴリなど沢山のもの思い浮かぶと思います。しかし、彼らの国民性は実際に交流することでしか感じることはできません。イメージの中の韓国ではなく、自分が6日間の間で学んだ実際の韓国について紹介したいと思います。

～1日目～

「坡州英語村」を訪問しました。アジア最大の英語テーマパークで、体験型英語教育を提供しています。私はそこで、K-POPダンス体験やチマチョゴリのキーホルダー作りを養明高校の生徒と一緒に行いました。ダンスではMOMOLANDの「Bboom Bboom」を韓国人の先生がわかりやすく教えてくれました。



お互いに言葉は通じないのに先生の気持ちが伝わっ

てきて、不思議な気持ちになりました。また、キーホルダー作りでは生徒さんと英語でお互いのことを話しながら相互理解を深めることができました。積極的に、協力してくれる姿は韓国人の親切な国民性を教えてくれました。

～2日目～

午前「キャンプグリーブス」という、元米軍基地を訪問しました。

実際に軍服を着たり、韓国の歴史を学んだりしました。軍服は写真で見るように、着ると暑くて、汗が止まりませんでした。



午後は「臨津閣（イム・ジンカク）」を訪問しました。朝鮮半島

の統一を祈願して建設された観光地で軍事境界線から7キロメートルに位置しています。私たちはテーマパークでバイキングに乗ってミッションをしたり、望拝壇から北朝鮮側を眺めたりしました。また、朝鮮戦争時に破壊された北朝鮮と韓国を往復した京義線の機関車を見て、その痛々しい姿に二国間の歴史を感じました。ここでも、生徒さんがバイキングで面白いミッションを考えてくれたり、韓国と朝鮮

の歴史について教えてくれたので、とても充実した時間を過ごすことができました。

～3日目～

養明高校を訪問しました。クラス数が40クラスもあり、1980名が通っています。私は、自分の住む町のクイズを出したり、授業を受けたり、サムルノリ（太鼓演奏）を見たりしました。クイズを出題する時私は自分の韓国語に自信がなく、とても不安でしたが生徒さんたちの明るい雰囲気助けられて、楽しく発表することができました。授業参加では、1年生のクラスで数学の授業を受けました。グループで問題を一緒に解く時もグループのメンバーが私に日本語で教えてくれて、優しく気遣ってくれました。すべてが新鮮で、韓国の生活について1番知ることができた1日でした。



～4日目～

午前には世界文化遺産の水原華城（スウォンファソン）を訪問しました。朝鮮代22代王・正祖（チョンジョ）が残酷に亡くなった父の墓の参拝目的に建てた新都市で、多くの資料が残されています。

実際は一部の建築物を除いた、すべてが復元されたものであり、世界遺産の「華城城役儀軌」という書物に基づいて復元されました。ガイドさんのストーリーに沿った解説がとても分かりやすく、古代朝鮮について多く学ぶことができました。

午後は「デンソー・インターナショナル・コリア」を訪問しました。本社は愛知県の刈谷市にあり、自動車の構成部品の製造を行っています。世界で

初めてQRコードを発明したのもデンソーです。建物内には見たことがない機械が沢山あり、「マネキング」という感知機能が付いたマネキンや、電球が360°回転して車を取り巻く環境を再現する研究室がありました。また、デンソーの人が日本人の社員に韓国の生活について質問できる時間を設けてくださったので、韓国でのリアルな生活を知ることができました。韓国の人は日本語が上手なので韓国語を話せなくても生活に支障がなく、日本人に興味を持ってくれる人が多いそうです。実際、今回の派遣でも養明高校では300人の生徒が愛知県との交流事業に応募し、選ばれた13名が私たちのバディとなりました。



～5日目～



午前は「サムスンイノベーション博物館」を訪問しました。あらゆる電化製品の起源とこれからの発展について知ることができました。左の写真のテレビは右の枠で映像を流し、左の枠でチャンネルを変換します。丸い部分は円盤で、パラパラ漫画の原理を使って映像を流していました。他にも、エジソンが開発した電球や横幅が1センチ未満の薄型テレビ、賞味期限を管理してくれる冷蔵庫などがありました。

午後は「民俗村」を訪問しました。朝鮮時代の町並みを完全に復元した村で、一目で昔の暮らしを知ることができました。「農楽（伝統芸能）」や綱渡りのパフォーマンスも見ることができ、日本にはない文化に驚かされました。民俗村には娯楽村というアトラクション広場もあり、様々な乗り物を乗りました。そこで「韓国のアトラクションは時間が長い！」と感じました。日本の約2倍乗っている時間が長いので「韓国人はサービス精神が豊富なのかな。」と思いました。



～6日目～



ホテルの宴会場で送別会を行いました。養明高校の生徒さんと手紙を書いたり、6日間のムービーを見たり、皆で最後にご飯を食べたりしました。バスに乗るときは別れるのが辛く、涙が出そうでした。沢山の人の人に出会えて、お互いを知って、お互いを助け合うことの大切さを学びました。

～さいごに～

「あなたは韓国がどれくらい好きですか？」

この質問にあなたはどうか答えますか？私は「大好きです。」って心から答えると思います。日本と韓国には様々な外交問題があり、韓国に対する印象も人それぞれだと思います。しかし、私は今回の派遣を通して、現地の人と直接交流することがなによりも大切だということに気がつきました。表向きで物事を判断するのは簡単です。私も今までいろいろなことを表面でしか見ようとしませんでした。でも、その裏側こそが本当の姿であり、私たちが知らなくてはならないことなのです。韓国人はとても親日家で多くの人が日本語を学び、とても親切で、どこに行っても気さくに話しかけてくれます。私は韓国人の国民性の素晴らしさをもっと広げていきたいと思っています。

愛知県京畿道派遣事業

愛知県立津島高等学校 1年 倉田 小陽

〈1日目〉

1日目は韓国で有名なオーディション番組の合宿所としても使われた坡州英語村で宿泊しました。その日に3日間お世話になる養明高校の生徒と対面して、その後に撮影で使われたスタジオでプロのダンサーさんにダンスを習ったり養明高校の生徒とペアを組んで韓服のキーホルダーを作りました。(写真は英語村の様子、宿舍の内部)



〈2日目〉

2日目は、北朝鮮との国境沿いに近いキャンプグリーヴスという場所で軍服を試着したり、国境に最も近い統一展望台に登って実際に北朝鮮を見ることもできました。

キャンプグリーヴスでは、空き時間にフライパンゲーム（日本でいう斎藤さんゲーム）をやったり、資料館のようなところで朝鮮戦争の資料を見学しました。

また、展望台近くにある遊園地に行くことができました！4つの班に分かれてそれぞれが自分たちでミッションを作ってそれにチャレンジしました。私たちの班は、バイキングに乗ったときに絶対に手すりを掴まないというミッションでした。結局全員は成功できなかったけど、このミッションや、キャンプグリーヴスで行なったフライパンゲームのおかげで班の親睦が深まりました！

〈3日目〉

3日目は、1日目、2日目に一緒に行動してくれたパートナーのみなさんが通っている養明高校へ一日訪問しました。

バスを降りる前からたくさんの生徒が私たち訪問団を歓迎してくれて、とても驚いたし、感動しました。(写真左)

私たちは出し物として、自分たちにゆかりのある地域についてのクイズをそれぞれ出題したのですが、私が出題した『清須市出身の漫画家は誰か？』というクイズに、生徒のみなさんがとても盛り上がってくれて本当に嬉しかったです！（2枚目に続く）

そのあとは食堂に行って昼食を食べました。(韓国の高校ではこういった食堂があるのが普通だそうです。)

昼食のあとは科学の授業を受けました。丸いケースの中の構造を当てるクイズでは、たくさん考えたのに実際の答えと全く違っていて驚きました。そのあとはペアに分かれて実際に授業を受けてきました。私は英語の授業を受けてきたのですが、1人の男の子がBTSの「DNA」を私たちのために踊ってくれたり、戻るときにお菓子をくれたりうれしかったです。養明高校では、外国語科目として英語、日本語、中国語があるそうです。授業を受けたあとは体育館に移動してダンスサークルの人たちのダンスを見ました。私と同じ高校1年生なのにとっても大人っぽくてびっくりしました！

最後はサムルノリと言われる韓国の伝統音楽の演奏を聴いて、実際に体験しました。

何度やってもうまくできなくて少し悔しかったです。

お見送りも盛大にやってくれて本当に嬉しかったし、この学校に通いたいなあと思いました。



〈4日目〉

4日目は、水原華城と言われる、世界遺産となっている城に行きました。ドラマのロケ地になっているところがあったり、大きな絵巻物があったり歴史の厚みを感じました。愛知県に本社を持つ、デンソーインターナショナル코리아の見学に行きました。写真を撮ることができなかったのでそこは残念ですが車の試験現場などを見ることができて、とても良い経験になりました。私が驚いたのは防音設備の部屋です。絶対に音が外に漏れない部屋を見学したのですが、音が漏れないようにしている壁の素材がスポンジで驚きました。

〈5日目〉

5日目はサムスンイノベーションミュージアム (SIM) に行ってきました。映像が流れて

いたスクリーンが回転扉になったり、時代の最先端に行く技術にとっても驚きました。また、実際にこの技術が実用化されていることにも驚きました。帰るときには初めに撮った写真がスクリーンに映し出されてびっくりしました！（写真左）

また、世界で5番目に大きいと言われる韓国民俗村にも行きました。韓国の民家だけでなく北朝鮮の民家も見れたり、ドラマや映画の撮影地を見ることができてとても楽しかったです。



〈6日目〉

最終日となる6日目は、1日目から3日目までお世話になった養明高校の生徒のみなさんが来てくれて、日本側は日本語、韓国側は韓国語でそれぞれ手紙を書いて交換しました。手紙にたくさん文章が書いてあって感動しました。

〈まとめ〉

今回の派遣が自分にとって初めての海外渡航でとても緊張しました。予期せぬハプニングもあつたりしましたが、派遣団のみなさんや、現地の方々の優しさに助けられました。上手くコミュニケーションが取れなくて自分の英語力の無さを再確認しましたが、日本に帰ってからもっと英語を頑張ろうという意識が生まれました。

今回仲良くなって連絡先を交換した現地の高校生のみなさんと、今後も連絡を取り合つて、お互いの国についてもっと知りたいですし、もし彼らが日本に来たときは日本を案内してあげたいです。いつかまた何らかの形で会えたらいいなと思います。

この貴重な経験を今後の自分の糧にして、これから生活していきたいと思います。

このような機会をくださりありがとうございました！

愛知県高校生訪問団京畿道派遣事業報告書

愛知県立常滑高等学校 小野純愛

Day. 1

空港から坡州英語村に着いたとき、養明高校の生徒たちが私たちを歓迎してくれました。オリエンテーションの後はみんなでK-POP体験でMOMOLANDの「BBoom BBoom」をダンサーの先生に教えてもらいました。すごく楽しくて、踊れた時は嬉しかったです。



夕食後は韓服キーホルダーを養明高校の生徒と一緒に作りました。チームに分かれて、チマチョゴリのとても可愛いキーホルダーを作りました。私のペアはユジュンという二年生でした。彼は日本にとっても興味を持っていて、日本の学校に進学したいと考えていることや、「逃げるは恥だが役に立つ」という星野源が主演のドラマをきっかけに星野源が好きになったことなどを教えてくれました。キーホルダーはとても可愛くて日本に帰ってからもとても大切にしているくらい気に入っています。



ダンスと韓服キーホルダーを制作した場所は韓国の有名なテレビ番組の撮影場所でした。Produce48というオーディション番組の撮影場所です。日本と韓国で放送されています。普段は入ることができないダンススタジオなどにも入ることができてとても貴重な体験になったと思っています。Produce48のほかにも様々なドラマやミュージックビデオのロケ地でもあります。

Day. 2

軍服体験をしました。長袖の軍服を着てテントの中っていると暑かったです。アメリカ兵が駐在していた場所なども見る事ができました。戦争はつらいはずなのにアメリカ軍の兵士の多くが笑顔で写真に写っていたことを不思議に思いました。



そのあとは、平和ヌリ公園に行きました。みんなでバイクに乗ったりとても楽しく過ごすことができました。少し遊んだ後は、展望台から北朝鮮との境界部分を見ました。自分たちが考えていたより近くて、少しだけ不安に感じました。しかし、外の眺めはとても良くきれいでした。

Day. 3

養明高校に訪問しました。バスから降りると養明高校の生徒が伝統音楽で歓迎してくれてとても嬉しかったです。私にとって初めて聞いた音楽なので珍しく感じました。伝統的であるものの賑やかで楽しい音楽でした。

愛知県のことを紹介するクイズを出すと積極的に答えて参加をしてくれたので愛知県のことに興味を持ってあげることがすぐにわかり、うれしく思いました。

その後は学校にいる間に案内をしてくれるパートナーと昼食を食べました。私のパートナーは英語が堪能な理系の学生のミンホと日本に興味があり日本語を勉強しているボンソという学生でした。

参加した授業は化学と美術です。箱の見えない内部構造を考える授業でした。理系が苦手な私は二人にたくさん教えてもらうことで正解することができました。美術の授業ではハングルの文字の構造とタイポグラフィについて学びました。読み方や書き方も教わることができて文字のレタリングやデザインの部分で先生に褒めてもらうことができてとても嬉しかったです。

帰る前には伝統音楽を見せてくれました。そして演奏の仕方などを教えてくれました。私には太鼓の使い方を教えてくれて初めてだけどすごく楽しむことができました。



Day. 4

世界遺産である水原華城を見ました。復元された城ではじめて文化遺産になったもので築城記録などが事細かに残されていることがとてもすごいと思いました。建物は屋根や天井などにもとても細かいきれいな装飾が施されていてとてもきれいでした。

デンソーインターナショナル코리아では、愛知県の企業である韓国の起亜や現代もデンソーの製品を使用していて韓国におけるシェアを広げていることを知りました。日本からのエンジニアが年々減ったという話から韓国のエンジニアの技術がかなり上がってきていることがわかりました。



Day. 5

SAMSUNG Innovation Museumに行きました。電気製品の誕生を学び、SAMSUNG製品の最新のものを見ることができました。私たちが普段当たり前のように使っている電子機器もはじめは今と大きく異なる姿だったことに衝撃を受けました。

韓国民俗村では、韓国の古い建造物や公演を見ることができました。建造物によってはその当時の暮らしをマネキンなどで再現して展示してあってわかりやすかったです。公演では韓国の伝統的な楽器を使って奏でられる音楽を聴いたり、綱渡りを見ることができてとても面白かったです。



この日の夕食は、焼き肉でした。愛知県知事にお会いした時に、知事から韓国は焼き肉がおいしいということを伺っていたのでおいしい焼き肉を食べることができてとても嬉しかったです。



Day. 6

ホテルで養明高校の生徒たちとの送別会が行われました。これまでの写真でスライドショーを作って私たちに見せてくれたり、ユジュンと手紙の交換をできてすごく嬉しかったです。ミンホも来てくれて日本語で手紙を書いてきてくれました。すごく頑張って書いてくれたのが伝わってきてとても嬉しかったです。みんなと昼食を食べながらたくさん話したり、写真を撮ったりすることが最終日にできたので寂しかったけどとても楽しかったです。仲良くなった生徒ともLINEやKakao Talkなどで連絡先を交換することができました。帰国した今でも定期的に連絡を取っています。



Lastly.

私は、今回の交流事業で韓国の様々な文化を積極的に学ぶことができたと思います。今回経験することができたこの貴重な体験を生かしていくためにも今後の学校生活などにおいて、様々なことに前向きに取り組んでいきたいと思いました。養明高校の生徒は日本の学生より高い英会話能力を持っていました。その高い英会話能力に触発されて、私も英語などコミュニケーションをとるうえで必要な語学を身につけるべきだと思いました。そして、今回の事業で出会うことができた人々との貴重な出会いを大切に愛知県の学生と京畿道の学生のつながりが途絶えることがなく発展していくと良いと思っています。

京畿道派遣事業を通して

豊田北高校 一年 小野未来

〔はじめに〕

韓国ってどんなところなんだろう。「辛い物」「チマチョゴリ」「美容」いろんなものが思い浮かんできます。この派遣を通して今まで知らなかった韓国のことをたくさん知ることができました。

〔チェンジアップのキャンパス〕

一日目、チェンジアップのキャンパスに行くと現地の高校生たちが私たちを温かく迎えてくれました。

一緒にダンスを踊ったりチマチョゴリのキーホルダーを作りました。英語をうまく話せるかすごく心配でしたが、「日本語で話して大丈夫ですよ。」と言われ、少し戸惑いましたが、日本語で質問してみると笑顔でいろんなことに答えてくれました。

韓国の方は、韓国語をいつも話すはずなのに、英語や日本語もすらすら話すことができているすごいと思いました。



〔統一展望台〕

統一展望台の双眼鏡で北朝鮮を見ることができました。

また、北朝鮮との戦争で被爆をした列車を見ました。

韓国では徴兵制を行っており、またいつ戦争が起きてもおかしくないという状況が続いていると聞きました。南北統一を実現させようという願いが伝わって



きました。

〔養明高校訪問〕

最初に朝鮮半島で古くから演奏されてきた音楽で私たちを迎えてくれました。

明るい演奏で聞いているだけですごく楽しい気持ちになりました。

男子校に訪問すると聞いていたので少し不安でしたが一日中付き添ってくれたバディの二人とはすぐに仲良くなれました。二人とも日本が好きで日本の漫画やアニメのことについてたくさん話すことができました。

学校の雰囲気は日本とほとんど変わりませんでした。しかし、みんなで食堂に集まって昼食をとるのは日本と違ってとても驚きました。

また、授業も日本とは少し違っていました。日本の場合、黒板を使って授業をすることが多いと思います。しかし、韓国ではテレビなど映像を使って授業をしていました。みんなが優しく親切に接してくれたのですぐに打ち解けることができ、たくさん話すことができました。本当に充実した一日になりました。



〔民俗村〕

韓国民俗村は屋外の博物館のようになっていたため、伝統家屋を見ることができ、韓国の歴史について学ぶことができました。

みなさんは朝鮮半島の北部と南部で伝統家屋が違うことを知っていましたか？北部では寒さが厳しいためオンドルを設置して保温効果を高めるなど工夫がされていました。北部とは対照的に南部では風通しよく建てられており夏場に熱がこもりにくいように床の下に隙間がありました。地域によって家屋を工夫するのは日本と同じだな、と思いました。



〔最後に〕

現地の高校生とは、日本語や英語でたくさん話すことができました。

バディの子に聞いてみると韓国では、英語を五歳の時から習い始めるそうです。

日本では、中学校でたくさん英語に触れるという機会が増えます。

もっと英語をしっかりとやっていればたくさんコミュニケーションをとることができたかもしれません。これからもっと力を入れて勉強し、世界共通語である英語を使い、いろいろな国の人とコミュニケーションがとれるようになりたいです。

韓国の人は日本をあまりよく思っていないというニュースをよく目にしますが、現地へ行ってみると全く違いました。ほとんどの人が日本のアニメや漫画が大好きと言っており、日本のことを好きな人がたくさんいて本当に嬉しかったです。

愛知県の代表として京畿道に行くことができ、たくさんのことを学ぶことができました。本当にいい思い出になりました。

今回こうして出会えた韓国の高校生の人たちや、一緒に六日間を過ごした日本のみんなとの出会いを大切にしたいです。ありがとうございました。



愛知県・京畿道 高校生交流事業レポート

西尾高等学校 稲垣 みみこ
(2018年 7月 21日～26日)

<1日目>

坡州英語村にいき、様々な体験をしました。
はじめにダンス体験をしました。
私はダンス部なのでプロのダンサーに
教えてもらえてとても良い経験になりました。
そのあとは、韓国の学生さんたちと一緒に
韓服キーホルダー作りをしました。
いろいろな話も出来てとても楽しかったです。



<2日目>

キャンプ・グリーブスで軍服体験や中
を見学させていただきました。

戦争に関することを韓国側から知れ
てとても勉強になりました。

そのあと統一展望台にも行きました。ニ
ュースでしか見たことがない北朝鮮を実
際に見ることができました。



<3日目>

養明高校を訪問しました。
高校では一人につき一人か二人のパートナーがついて案内していただきました。
授業や部活も少しだけではありませんでしたが体験させてもらうことができとても楽しかったです。



たくさんの方が挨拶をしてきてくれてうれしかったです。
授業では私たちのために準備してくれていたプレゼンテーションをしてくれて韓国についてより深く知れておもしろかったです。

韓国のおすすめの食べ物まで教えてくれました。
高校には日本語や英語が上手な方が多くいて驚きましたが、そのおかげでたくさんコミュニケーションがとれたので良かったです。
韓国の伝統的な楽器による演奏も見る事が出来て体験までさせていただきました。

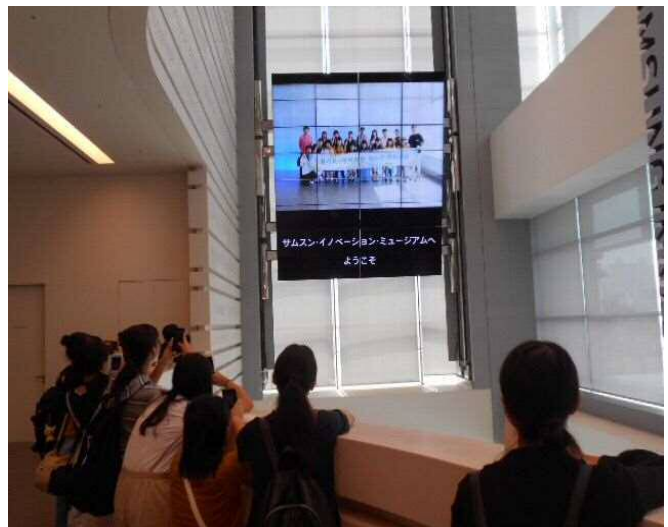


<4日目>

世界文化遺産の水原華城に行きました。
実際に建物を見ながら歴史について学ぶことが
できてとてもおもしろかったです。
そのあとは、日本の企業である
デンソー・インターナショナル・코리아を訪問させていただきました。
海外で活躍する姿を実際に見ることができました。

<5日目>

サムスンイノベーション博物館
を訪問させていただきました。
透明なディスプレイや
移動式のスクリーンなどがあり
最先端の技術を直接感じる
ことができました。
そのあとは、民俗村に行きました。
そこでは伝統的なショーを見るこ
とができました。



<6日目>

送別会をしていただきました。
養明高校の生徒さんまで来てくれま
した。
みんなでそれぞれの母国語で手紙を
書きあい交換しました。
とても充実した6日間にするこ
とができました。
今回の派遣に関わっていただいたす
べての方に感謝したいです。

<感想>

私は少しハンゲルが読める程度で英語もあまり自信がなく心配していましたがたくさんコミュニケーションがとれてすごく勉強になりました。私は人見知りですが自分から勇気を出して話しかけるなど積極的になることで現地の高校生と仲良くなることができました。

ですが、もっと自分の気持ちをうまく伝えられたらと思うこともあったので、これからはより英語や韓国語の勉強をがんばろうと思います。とても貴重なこの体験をこれからも生かしていきたいです。そして自分の周りの人にも伝えていきたいです。



愛知県高校生訪問団京畿道派遣

愛知県立刈谷北高等学校 宮田佳奈

1日目 坡州英語村

韓国で社会現象を巻き起こしたサバイバル番組「PRODUCE101」シリーズや「PRODUCE48」のロケ地となっている坡州英語村へ行きました。私はこの番組がとても好きなのでとても嬉しかったです。オリエンテーションのとき、養明高校の学生さんが歓迎して下さいてこの派遣期間の交流が楽しみになりました。

オリエンテーション後、一般の人は入ることができない練習室で実際にダンスを教えているダンサーさんから MOMOLAND の「BBoom BBoom」のダンスを教えてもらいました。とても貴重な体験ができ、ダンスを楽しんでいることができました。

夕食後は、韓服キーホルダー作りをしました。作るのは難しかったけど、韓国の学生と話しながら作れたので楽しかったです。



2日目 キャンプグリーブス、平和ヌリ公園

キャンプグリーブスでは、軍服体験を行いました。実際に着てみるととても暑く、動きにくかったです。そんな服を着て厳しい訓練を行うのは過酷だなと思いました。

非武装地帯からあまり離れておらず、入るのにパスポートの提示が必要で、警備が厳重だという印象を受けました。施設の中では、朝鮮戦争の歴史について学ぶことができました。

その後は養明高校の学生との交流タイムで、一緒にゲームをしながら、たくさん話すことができました。

その後は平和ヌリ公園へ行きました。天気が良かったので展望台から北朝鮮を見ることができました。



3日目 養明高校訪問

私たちがバスを降りる前から韓国の伝統音楽であるサムルノリを演奏しながら歓迎してくださいました。私たちは自分が住む市の魅力をクイズ形式で紹介しました。皆の反応が大きくて、とても発表しやすかったです。

授業は、科学と国語を受けました。授業の内容を理解できるか心配だったけれど、科学は先生が日本語で授業をしてくださり、国語はペアの子がすべて日本語に訳してくれたのでしっかり理解することができました。

部活動体験では、ダンスとサムルノリを体験しました。言語の壁は多少あったものの、楽しく体験できました。



4日目 水原華城、デンソー訪問

水原華城では、たくさん門があることに驚きました。また、王様たちが移動するときの絵に馬だけの箇所があり、そこは王様が乗っているけど、王様の絵は描かないということにも驚きました。

デンソーでは、思っていたよりも日本人の従業員が少ないということがわかりました。暑い地域向けには暑さに強い車、寒い地域には寒さに強い車をそれぞれ作っているのを知り、地域によって車に工夫していることがわかりました。私は刈谷市に住んでいるので、地元の企業が海外で活躍しているのを見ることができて嬉しかったです。



5日目 サムスン博物館視察、民俗村視察

サムスンイノベーションミュージアムでは、サムスンで作られたものが展示されているだけではなく、電子機器の歴史も学ぶことができました。誰かが笑顔になると自動でシャッターを切るカメラや、扉を開けなくても中がわかり、欲しいものを注文できる冷蔵庫など、たくさんの驚くものがありました。一度やってみたかったVR体験もできて嬉しかったです。

民俗村では、サムルノリを見ました。ここでパフォーマンスを披露していた方たちは、楽器を演奏しながら飛んでいてすごかったです。また、済州島での昔の生活の様子も知ることができました。



6日目 送別会

送別会では、同じ班だった学生にメッセージを書いたり、前の席に座っている韓国の学生に手紙を書いたりしました。その時間に派遣期間の楽しかったことが蘇ってきて、帰国が近づいていることが悲しくなりました。スーツケースをバスまで運んでくれたり、いろいろなプレゼントをくれたりしてくれて、私ももっとたくさんのものを準備してこればよかったと思いました。



まとめ

この5泊6日間は、普通の旅行ではできないような貴重な経験をする事ができて、とても有意義な日々だったと思います。一緒に派遣に行くメンバーと会うのは2回目、最初はなかなか話せなかったけど、この期間の中で最後にこれからしばらく会えないのが辛いと思うほど仲良くなることができてよかったです。コンビニで店員さんに「韓国語上手だね」と言われたときはとても嬉しく、韓国語を勉強してよかったです。

今回の派遣で積極的に外国の人と関わろうとすることができたので、この経験を活かし、グローバルな人材になりたいと思います。

愛知県高校生訪問団京畿道派遣事業

報告書

愛知県立安城東高等学校

2年 奥村 心優

●はじめに

今回の京畿道派遣は私にとって初めての海外への訪問でした。
京畿道でのすべての体験がとても新鮮で、たくさんの忘れられない思い出ができました。



～1日目～

韓国に到着したときは、気温 36℃で日本とあまり変わらない気候でした。

バスに乗って坡州英語村に行きました。オリエンテーションでは暖かく歓迎してくださいました。ここでは韓国の養明高校の生徒の皆さんとK-POPを一緒に踊ったり、韓服キーホルダーを作ったりしました。



キーホルダー作りの時には養明高校の生徒の方が優しく、丁寧な日本語で教えてくださり仲を深めること

ができました。

英語村での夕食で、初めてキムチを食べました。唇にヒリヒリとした感覚が残るような辛さで驚きましたがとても美味しかったです。





～2日目～

キャンプグリーブスに養明高校の生徒の皆さんと一緒に軍服体験をしました。

施設に入るときに、本物の軍人の方を見ることができ、とても感動しました。

ガイドの方も来てくださって、朝鮮戦争から現在までの韓国の軍事的な歴史をより詳しく知ることができました。

また、実際に朝鮮戦争の時にアメリカ軍が使用していた建物や、軍で使われている物を見ました。



次に、臨津閣平和ヌリ公園に行きました。この公園は、北朝鮮の国境から直線距離で460mしか離れていない公園でした。



展望台を上って双眼鏡で北朝鮮の国境を見ると、線路があり、道路に自動車が走っているのを見て、日本ではニュース等でしかわからない北朝鮮のことを実際に目の当たりにして、大きな驚きと感動を得ることができました。



また、公園の中には遊園地もあり、皆でバイキングに乗りました。最も高いところに達した時には、北朝鮮の国境も見ることができました。



～3日目～

養明高校へ訪問に行きました。校門から教室に入るまでにサムルノリという韓国の伝統の音楽を演奏してくださって大変温かく歓迎してくださいました。

元々この学校は小さな大学として建てられたそうですが、高校として使われるようになったそうです。

1学年で十数組もあってとても大きな高校でした。筆箱やキーホルダーを頂き、とても嬉しかったです。

自分たちの地元紹介の時のクイズがとても盛り上がって良かったです。



昼食はガイドの学生の方々と一緒に食べました。プレートを持って並び、配膳係の人が配膳してくれました。やはり、毎回の食事でキムチがでてくるところなど、韓国の食文化を感じることができました。

ご飯の左上の食べ物は、煎餅だと翻訳機を使って私のガイドの人が教えてくれました。中にキムチが入っていてとても辛かったです。スイカと一緒に食べるといいよと、教えてもらいました。しかし、あまりにも辛くて少ししか食べることができません

でしたが、楽しく昼食の時間を過ごすことができました。

また、ジュースも買ってください、韓国の方はとてもやさしい印象を受けました。



昼食を取った後、科学の授業を受けました。黒く丸いケースの中の形の中に入っている鉄の玉の音を聞いて答える内容の授業でしたが、想像以上に難しく、ガイドの方と一生懸命考えました。



結局、正解はしませんでした、楽しく授業を受けることができました。

次に、1-1 で英語の授業を受けました。日本と韓国の似ている部分と違う部分についての内容であり、皆さん英語の発音がとても上手でした。



日本語の五十音よりも発音できる音が多いため、綺麗に発音ができるのかなと思いました。

発表ごとに色々なもの（プルコギバーガー等）をくださりとても楽しかったです。



部活動体験では、K-POP を踊りました。最初にダンスを踊って見せてくれて、とても完成度が高く凄いなと思いました。見よう見まねで踊ってみましたが、とても難しかったです。

踊り終わった後に外に移動して、最初の歓迎の時に演奏してくれたサムルノリを演奏してくれました。沢山の太鼓などを用いての演奏であり大迫力でした。少しだけ太鼓のたたき方とリズムを教えることができ、貴重な体験をすることができました。

～ 4 日目～

世界文化遺産の水原華城を見にいきました。門がとても立派で迫力がありました。

緑色と赤色の塗装が映えていてとても綺麗でした。ガイドの方が案内して下さり、中の造りを詳しく知ることができました。



また、昔の記録の絵を鑑賞しました。絵はレプリカでしたが、実物はとても大きいものだそうです。列を作った2,000人が描かれていて、その中には王様や王様の母もありました。

しかし、朝鮮王朝では王様の顔や姿は描いてはいけないという決まりがあったという事が分かりました。他にも色々なことを知ることができました。

次にデンソー・インターナショナル・コリアを訪問しました。トヨタのグループ会社であるため自動車の部品を多く取扱っていました。

エンジンの品質を高めるために0.1秒の速さで高圧噴射をしていたり、自動車のボディーや空調が暑さや寒さに耐えうるかどうかで、約百個の電球を使ってテストをしたりしていました。

韓国で働いている日本の社員の方からお話を聞くことができ、普段では入れないところに入らせてもらい貴重な体験をすることができました。



そして LOTTE MALL で買い物をしました。色々なものがたくさんあって、日本より韓国の物価の方が少し安いなと感じました。韓国も暑く、ハンドサイズの扇風機を持ちながら歩いている人がとても多かったので、私も買ってしまいました。



夕食では、お寿司とバイキングを食べました。韓国の滞在でお寿司を食べるのは初めてでしたが、韓国のお寿司もとても美味しかったです。日本の寿司との食べ比べができ、楽しかったです。

～5日目～

サムスンイノベーション博物館を視察しました。

大きな液晶パネルを用いて歓迎してくださいました。

社内がとても広く、自転車や自動車を借りて移動していることを聞いたときにはとても驚きました。



電球やテレビなどの生活家電の変遷や最新技術を使ったパソコンや携帯電話、冷蔵庫を見ました。特に冷蔵庫が凄く、タッチパネルが付いていてアプリケーションが内蔵されていました。検索機能なども付いていて、とても関心を持ちました。



次に韓国民俗村では、テレビでしか見たことの無いものを実際にたくさん見ることができて、とても楽しかったです。伝統の音楽の演奏や踊りを見ることができました。



夕食では焼肉を食べました。店員さんが肉を焼くから切るまですべてやっていて驚きました。肉をキムチと一緒に食べるととても美味しかったです。



～6日目～

養明高校でガイドをしてくれた生徒の方々との送別会をしました。1日目の英語村や高校訪問などで一緒に行動してくれたガイドの学生の

方々とお別れするのはとても悲しかったですが、日本からのお土産を渡すこともでき、最後は笑ってお別れすることができました。



●最後に

今回の京畿道派遣に参加して、5泊6日という短い期間でしたが、実際に現地の人々と会話し、現地の料理を食べる事は、とても有意義な経験になりました。

韓国の良さは人から聞くのと実際に見るのとでは、全く違うものでした。

また、韓国の皆さんは、とても親切で優しい印象を受けました。

韓国の文化にたくさん触れることができ、とても充実した時間を送れたと思います。

この貴重な体験をさせていただいた皆様に感謝し、この体験を周りの方々に伝えて、自分自身の成長に生かしていきたいと思います。

このような素晴らしい機会をくださり、本当にありがとうございました。



愛知県高校生京畿道派遣事業報告書

豊橋東高校 2年 豊川世奈

私は今回の京畿道派遣事業で韓国についてたくさん学ぶことができました。また、韓国の学生とも交流することができ、自分たちの将来について話し合ったりすることができました。



《1日目》

仁川空港に着いてから、約1時間半かけて、坡州英語村に行きました。なんとそこは produce101,48 の撮影地でした。実際にテレビで見ていた光景が目の前にあって感動しました。そして、オリエンテーションの時は韓国の学生が13人も拍手で迎えてくれました。お互いに自己紹介をしましたが、韓国の子はほとんど日本語で自己紹介をされていてすごいなと思いました。



そのあとは、K-POP のダンス体験をしました。曲は MOMOLAND の「BBoom BBoom」を踊りました。このダンスは難しいことを知っていたので、嫌だなと思っていましたが、ダンスの先生が正しく踊るよりも楽しむことのほうが大切！と言ってくれたので、他の友達ともお互いに教え合いながらその時間を過ごすことができました。

《2日目》

韓国ドラマ「太陽の末裔」というイケメンの軍人と美人女医のラブストーリーを描いたドラマの撮影地がキャンプグリーブスです。そして主人公が着ていた軍服と同じ形のものを着ました。軍服は長袖長ズボンでも暑かったです。韓国では現在も兵役制度が残っており、男の子たちはこの軍服を1年中着なければいけないのだと思うととても大変だなと思いました。その軍服を着るという貴重な体験ができてよかったです。



その後は、臨津閣（イムジンカク）平和ヌリ公園に行きました。ここでは、韓国の学生と日本の学生の混合グループを作って、それぞれのグループで1つミッションを決めて、それをやり遂げるためにその周辺を2時間自由に回りました。まずは、そこに遊園地があったので、そこで1つ目のミッションはバイクに乗ることに決めました。2つ目は展望台にのぼって写真を撮る、3つ目は戦争の時に使われていた汽車の前で写真を撮るということになりました。

《3日目》

この日は養明高校に行きました。学校に着いたらとてもたくさんの学生が四物遊びという伝統的な4種の打楽器で演奏する韓国の音楽で出迎えてくれました。歓迎式をしたあと、韓国の学生に愛知県の紹介をしました。英語で発表する子もいれば、韓国語で発表する子もいて、とても盛り上がりました。

昼食は学校内の食堂で食べました。韓国の給食はとても美味しかったです。私のペアの学生は2人いましたが、2人とも日本語がたくさんわかるわけではなかったけど、英語と韓国語と日本語を混ぜながらお話ししました。好きなアニメの話や、アイドルの話など、いろいろなことで盛り上がりました。



そして、午後には授業の体験をしました。私は国語の授業を受けました。その日のテーマは話を聞くことと話すことの大切さということでした。友達、家族、先生などと話すときはよそ事をしない、相手の目を見て話す、など日本でも同じようなことが言えることをたくさん学びました。



そのあとは、四物遊びを実際に体験しました。最初は学生の子たちが演奏をしてくれました。とても迫力のある演奏で感動しました。1年生の子がバチの持ち方から、太鼓のたたき方まですべてゆっくり教えてくれました。最初は全然たたけなかったけど、だんだんコツをつかんできて、最後はうまくできるようになりました。

《4日目》

この日は水原華城に行きました。ここは王様の別荘のようなものだそうです。この王様は朝鮮第22代王・正祖です。この王様は、小さい時に自分の父が、無実の罪で米櫃の中に入れて、4日間食わず飲まずで過ごしそのまま死んでしまったところを近くで見えていましたが、自分は小さくて何もできなかったことが悔しかったのだそうです。そして、自分が王様になってからは親孝行に励んだそうです。



《5日目》

この日はサムスンイノベーション博物館と韓国民俗村に行きました。博物館にはサムスン電子のこれまでの歩みが展示されていました。サムスンは日本には進出してきていないけど、とても優れた製品などを身近で見ることができてよかったです。

民俗村では朝鮮半島に古くから息づく生活様式や文化を体験する

ことができました。伝統芸術公演は**農楽**を見ました。普段韓国の時代劇をドラマで見ていたのでその雰囲気味わえてよかったです。



《6日目》

最終日はホテルで送別会をしました。1, 2, 3 日目にお世話になった養明高校の学生さんが 13 名来てくださり、お互いに手紙の交換をしました。そして最後に記念撮影をしました。

《学んだこと》

私は今回の派遣事業でほかの高校の子たちや韓国の学生と仲良くなることができ、今でも連絡を取り合っています。そのように仲良くなれたのは、自分から積極的に話しかけにいったからだと思っています。何事にも自分から行動しないと何も始まらないということを知ることができました。わからないことは自分から進んで聞かないと、損することがあると感じました。聞かずして失敗するよりも、聞いて失敗したほうが次にもつなげていけるだろうし、それが成功にもつながると思います。今回の派遣事業で得ることができた経験や、自主性、自信、積極性を今後、さらにのばしていけたらいいなと思います。

そして、私はこの事業に参加するまでは、英語が話せれば、どの国の人も交流できると思っていました。確かに、コミュニケーションは取れるかもしれませんが、自分の言いたいことをしっかり伝えることはできませんし、お互いに母国語が英語ではないので、苦勞することがありました。やはり、その国の言語を学んで、その国の文化を理解しなければ、自分が本当に伝えたいことは伝わらないのだということを知ることができました。



《その他》

6 日間という長いようで短い時間の中で一緒に勉強し、最高の時間を共に過ごした 12 人の仲間のことは忘れません。

6 일간 정말로 **감사합니다!** 또 만나요~!

愛知県・京畿道 高校生交流事業 報告書

御津高等学校 奥田心夢

今回の京畿道派遣事業を通して、学んだことを報告します。
韓国に着いた時、あまり韓国に来たという実感が湧きませんでした。
言語の違い等、沢山の困難がありましたが、
とても充実した1週間を過ごすことができました。

坡州英語村

ここでは、現地の高校生と KPOP ダンス体験を
させていただきました。
普段は入ることができない Produce48 などのダンス
スタジオだそうで、大変貴重な体験をさせていただきました。
夕食を食べ終え、韓服キーホルダー作りをしました。



キャンプグリーブス

そこは、太陽の末裔の撮影地で、
実際に軍服を着ることができました。
パネルの前で写真を撮ったり、楽しかったです。
その後、施設内にて現地の高校生と交流しました。

養明高等学校訪問

韓国の伝統楽器でお出迎えしてくださいました。
私は美術の授業に参加することになり、美術があまり得意ではないので、とても不安でしたが現地の高校生方が、たくさん話しかけてくれたので、緊張が和らぎ、楽しく授業を終えることができました。
廊下で歩くたびに日本語で話しかけてくれたり、非常に嬉しかったです。

水原華城視察

大変暑かったのですが、韓国の歴史を知ることができました。
その中でも、印象に残った話は王様のお父様の死についての話です。
水原華城は、お父さんを想って建てられたそうです。
お父さんの死後色々大変だったようですが、
王様にまでのぼりつめて、すごいと思いました。
今復元中の建物が完成したらまた冬に訪れて見たいと思います。



デンソー訪問

実際に日本にもある企業らしく、日本人の方の経験談等を聞くことができました。
実際に実験室に入ることができ、全ての部屋にロックが付いてありました。
マネキンというマネキンがお気に入りらしくとても誇らしげに話していました。
防音室に入ったり、40度の空間に入ったりしました。
非常に暑かったのですが、いい体験になりました。

サムスン博物館

色んな電化製品について説明を聞きました。
過去から現在までの電気、掃除機、冷蔵庫、テレビ等を見ました。
技術の進歩を実際に触れて感じる事ができました。
その中でも、最近開発された冷蔵庫が素晴らしかったです。
冷蔵庫に賞味期限を入力すると、期限が切れるまえに通知してくれたり、
冷蔵庫からネット注文ができます。
欲しい！と思ったのですが、お値段は100万円もするそうです。
私たちがおとなになった頃には、浸透して欲しいと思いました。
色んな不思議な商品に触れることができ、楽しかったです。
まだ日本ではサムスは使われていることが少ないのですが、
もっと日本との関係を深くして欲しいと思いました。



韓国民俗村視察

家の屋根に使われる藁によって、北か南の家かを判断できるそうです。

そういう歴史に触れることができ、よかったです。

韓国の伝統芸もすごかったです。

施設内にある遊園地ではお化け屋敷に入りましたが、まさかのセルフ式でみんなすごく怖がっていたけど、逆に涼しくてずっと居たい気分でした。

よく、歴史ドラマでみる木製のブランコに乗りました。意外と高くまで漕ぐことができ、驚きました。

ロッテマート

私達は、韓国にいる間、ホテルの隣の一般的なマートで買い物をしていたのですが、その日は、時間があるため、予定には載っていなかったのですが、大型マートに行くことができました。

化粧品がたくさん売って居て、有名なブランドが多くて思わず爆買いをしてしまいました。日本に帰って、少し後悔しました。

そこで、アイスクリームを食べたのですが、日本の某コンビニの濃厚なアイスのような味がして、とても美味しかったです。

また、買い物に行きたいと思いました。

最後に

この派遣事業に参加できてよかったです。

絶対旅行では体験できない事もたくさんできて、大好きな韓国ドラマの撮影地を見ることができたり、とても充実した1週間を過ごすことができました。

もっと、日本人は嫌われていると思っていましたが、

韓国の方々は、とても優しく特にホテルの代表者さんには、沢山お世話になりました。

大好きなお肉とキムチを沢山食べることができよかったです。

今度韓国に行く際には、もっと韓国語を勉強していきたいと思います。

ありがとうございました。

平成30年度「愛知県高校生訪問団京畿道派遣事業」 参加者アンケート

1. どうして今回の派遣事業に参加しようと思いましたか？（※複数可）
- 国際交流に興味があるから (11)
 - 韓国に興味があるから (11)
 - 英語力を向上させるため (5)
 - 家族や学校の先生に勧められたから (5)
 - その他 (1 : アジアに興味があるから)

2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところはどこですか？

以下の a~i の中から三つまで丸印を付け、理由を書いてください。

- a. 英語村 b. キャンプグリーブス c. 臨津閣平和ヌリ公園
d. 養明高校 e. 水原華城 f. デンソー・インターナショナル・コリア
g. サムスンイノベーション博物館 h. 韓国民俗村 i. 送別会

感 想	○印
<p>(a) 英語村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロデュース 48 の撮影地に行けたことや、学生たちとの交流が楽しかったから。 ・設備が充実していて、普段体験させてもらえないダンス体験ができたから。 ・ある番組の撮影地だったところに行けてうれしかったし、ダンスが楽しかったから。 ・有名なオーディション番組のロケ地に行くことができたから。 ・ダンスのレベルが高い韓国のプロのダンサーさんに教えてもらえました。 ・沢山の交流ができたから。 	6
<p>(b) キャンプグリーブス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大好きな韓国ドラマの撮影地に行けたから。 ・実際に朝鮮戦争について知ることができたから。 	2
<p>(c) 臨津閣平和ヌリ公園</p>	0

(d) 養明高校訪問	13
<ul style="list-style-type: none"> ・日本と韓国の高校の違いを知れたから。 ・韓国の学校の雰囲気やたくさんの人と交流できたから。 ・現地の高校生と交流することによって、日本の学校との違いを感じられたから。 ・みんなやさしく迎えてくれて、たくさん話しかけてくれて本当に嬉しかったから。 ・日本の高校とのちがいを実際に感じる事ができたから。 ・たくさん的高校生と会えて楽しかったから。 ・すごく親切にたくさんのお話を教えてもらったから。 ・日本との違いをたくさん見つけることができ、仲良くなれてうれしかったから。 ・仲良くなれたから。 ・韓国で国語の授業を受けるという貴重な経験ができたから。 ・地元の生徒とたくさん話せて、仲良くなる事ができたから。 ・同じ年代の子たちとたくさん話せたし、今後の交流にも繋がりそうだから。 ・たくさんのお話ができてよかったから。 	
(e) 水原華城	2
<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の伝統文化について知ることができたから。 ・世界遺産にもなっている昔の建物を見て、緻密に造られていることが分かり、感動したから。 	
(f) デンソー・インターナショナル・コリア	1
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の企業が世界で役立っていることを知れたから。 	
(g) サムスンイノベーション博物館	6
<ul style="list-style-type: none"> ・今の私たちがこうして電化製品を使用できていることに長い歴史が関与しているのだと感じられたから。 ・自分が思っていた以上に技術が発展しているのを見て、本当にすぐけておもしろかったから。 ・元々、電子機器関連が好きだから。 ・すごい技術を間近で見ることができたから。 ・技術が高度で、日本には存在しないような博物館だったから。 ・手で触れてみたり、歴史を知らながら施設を回れたから。 	

(h) 韓国民俗村	2
<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国の文化を知ることができ、工夫されている暮らしに触れることができたから。 ・ 韓国の昔の暮らしの様子を見ることができて、歴史を感じることもできたから。 	
(i) 送別会	7
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後に交流ができてよかったから。 ・ 最後に手紙をもらえて嬉しかったから。 ・ 手紙を貰えたのがとても嬉しかったから。 ・ 今までお世話になったみんなに感謝の気持ちを伝えることができたから。 ・ 手紙の渡し合いが楽しかったから。 ・ 最後にみんなからメッセージをもらえたり、話せたから。 ・ たくさんの交流ができてよかったから。 	

3. 以下のプログラムの感想を記入してください。

(a) 養明高校訪問
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私のパートナーは英語しか話せない人だったけど、すごく優しく養明高校について説明してくれたり、日本語を知ろうとしてくれた。みんな優しい人ばかりで、日本と韓国の文化の違いを知るよいきっかけになりました。 ・ たくさんの方が温かく歓迎してくださり、とても嬉しかったです。学生さんはみんな優しく、言葉が通じなくても一生懸命に伝えようとしてくれて、私ももっと韓国語を勉強しようと思いました。 ・ 皆様が温かく迎えてくださって、緊張していたはずが、帰る頃にはとてもリラックスしていました。放課後の過ごし方、授業の進め方、どれも日本と異なっていて新鮮でした。文化の違いを感じることができ、楽しかったです。 ・ クイズの時や話している時に韓国語が上手く話せなくても、真剣に聞いてくれたり、伝わりにくいときにも必死に伝えようとしてくれて嬉しかった。学校を歩いていると、たくさん「こんにちは」と話しかけてくれる人がいて、日本人を歓迎してくれているようで嬉しかった。 ・ 韓国の人と話すことが楽しかったです。他国の人と関わりを持つことの大切さと楽しさを知る中で、韓国の人々の温かさや優しさを実感しました。 ・ 1日目、2日目とバディが変わってしまったのは残念でしたが、新しいバディとも

仲良くなれて良かったです。もっと高校訪問の時間を増やしてもいいと思うくらい楽しかったです。

- ・英語で物事を伝える努力ができて良かったです。
- ・最初に、たくさんの生徒たちが歓迎してくれて嬉しかったです。クイズもすごく盛り上がっていて、作って良かったと思いました。日本の高校にはないような、昼食を食べるスペースもあり、日本との違いを知ることができました。授業の形式は日本と似ていましたが、パワーポイントなどを使って英語で発表する授業などは珍しく感じました。ダンス楽しかった！
- ・授業を体験することができて、日本との違いを知れた。
- ・バスを降りた瞬間から大歓迎してもらえて嬉しかったです。ペアの子とも、ペアでない子とも話したり連絡先を交換できて、すごく貴重な体験でした。
- ・地域紹介の時はとても盛り上がりました。初めて韓国の学生と話しましたが、皆が優しく、授業もガイドの学生と楽しく参加することができて良かったです。授業を受けたクラスでも楽しく参加することができ、クラスの人たちとも、少しだけ話すことができたので良かったです。
- ・韓国語や英語があまり上手にできなかった私に、韓国の子たちは一生懸命に日本語を使って話してくれたことがとても嬉しかったです。普段できない交流ができて良かったです。
- ・多くの学生と話すことができましたが、韓国の学生はみんな優しくかったです。日本語で話しかけてくれたのが嬉しかったです。

(b) デンソー・インターナショナル・コリア

- ・日本の技術をもとに世界で使われているものが作られていることを知り、日本人であることに誇りを持ちました。私も、世界で人の役に立てるような人になり、活躍したいです。
- ・日本の企業を韓国で見ることができて、とても光栄でした。実際に関係者しか入れないところにも行くことができ、貴重な体験をすることができました。また、日本人の方ともお話をすることができ、私も将来韓国に関わる仕事をしたいと思っていますので、参考になりました。
- ・車にあまり関心がなかったのですが、見学していく内に興味を持つようになりました。近い将来、車がどこまでの進化を遂げるのか、ワクワクしています。
- ・日本の企業が海外の各地に拠点を置いて、それぞれの地域で発展しているのがすご

いと思いました。車の実験をするところや、車の部品など普段は見られないものを見ることができて、面白かったです。

- ・一生懸命に私たちへ伝えようとしてくれ、デンソーの社員の方々の温かさを感じました。日本の会社見学と違って、硬すぎない感じが新鮮でした。

- ・音を全て吸収する壁など、自分たちの知らない技術が知れてよかったです。また、韓国の社員の方たちの日本語がすごく上手でびっくりしました。

- ・自動車関連にもともと興味があったため、とても面白かったです。

- ・デンソーは、会社の名前しか知らなかったのですが、どんなことをやっているのか詳しく知ることができて良かったです。日本の企業が海外で活躍する中で、日本と外国との懸け橋になっているのだと思いました。

- ・日本の企業が海外に進出して定着しているのを見てすごいと思いました。

- ・車のテストの方法などを実際に見ることができて良かったです。愛知県にデンソーの本社があることを誇りに思いました。

- ・私の出身地にある会社にもかかわらず、何をしている企業なのか知らなかったのですが、実際に中を見てどんなことをしているのか知ることができて良かったです。技術向上に懸命に励んでいて、すごいと思いました。

- ・デンソーは、愛知に本社があるものの、今まではあまり興味を持つことがありませんでした。しかし、今回の訪問を通して、デンソーについてもっと知りたいと思うようになりました。

- ・来年また行けたら「-30℃の部屋」に入りたいと思いました。

(c) その他

- ・もっと高校生と交流したり、高校で1日以上授業を受けたかったです。でもすごくいい経験をさせていただきました。ありがとうございました。

- ・たくさんの経験をする事ができて、本当に楽しかったです。サムスンへ行ったこと、北朝鮮から460mしか離れていないところへ行ったこと、水原華城へ行ったこと、全ていい思い出になりました。

- ・サムスンは名前しか知らなかったのですが、実際に会社へ行って、今までの技術の発達や、未来の家具の発達の映像を見て、便利な生活になることがとても楽しみになりました。家具と私たちの健康が繋がっていると聞いて驚いた。

- ・英語村でK-POPダンスを踊ったのが楽しかったです。

- ・英語村でやったダンスが楽しかった。意外とショッピングモールとか市街地に行け

てよかった。途中で寄った遊園地が楽しかった。

・臨津閣平和ヌリ公園では、バイキングに乘りました。怖かったけれど、バディやグループの子が声をかけてくれたおかげで楽しく乗れました。また、展望台では北朝鮮を見ることができました。そこで被爆した列車を見ました。いつ戦争が起こるか分からないという状況で、韓国の人々が平和を祈る気持ちがよく分かりました。

・サムスンで今まで見たことがないような技術を見て、生活に反映されるのが楽しみになりました。

・デンソーやサムスンの担当者の日本語が本当に上手で驚いた。

・また来年も参加できればしたい程いい研修だった。

4. 滞在期間中、困ったことや不便に感じたことがあれば、記入してください。

- ・暑い中、外での見学が少し厳しかったです。
- ・胃が荒れてしまったことくらいです。
- ・ホテルにしかWi-Fiがないのが辛かった。
- ・ご飯の量が多くて困った。
- ・トイレトペーパーを流していいものなのか、流せないものなのか分からなかった。
- ・辛い物が口に合わなかった。
- ・お風呂に浸かれなかったこと。
- ・水が足りない。

5. このような派遣事業を来年以降も実施することを検討していますが、どのようなプログラムがあると良いと思いますか？ ※複数可

- 博物館や美術館などの訪問 (5)
- 伝統芸能の鑑賞・体験 (6)
- 県進出企業の訪問 (4)
- 高校生との交流 (10)
- ホームステイ (10)

6. 事前説明会について改善点があれば自由に記入して下さい。

- ・高校訪問の様子をもっと教えてほしかったです。
- ・また、おすすめの翻訳アプリなどを紹介しておくと思います。
- ・事前説明会の回数をもっと増やしてほしい。全員とコミュニケーションが取れるよ

うに、事前から、何か計画があればよいと思う。

・ペアの子の人数、名前、1クラスの人数の目安などを事前説明会で教えてもらった方がおみやげの準備がしやすいと思った。

・日常的に使える（コンビニなどで使える）ような韓国語の勉強をもう少ししたかったです。

7. 全体について、感想を記入してください。

・現地の高校生と交流できて本当に良かったです。韓国の世界遺産にも行けて、貴重な体験になりました。本当に参加できて良かったです。

・正直に言うと、こんなに歓迎してもらえると聞いていませんでした。皆さん、本当に優しく親切にしてくださり、不自由なことが何もありませんでした。食事はとても美味しくお腹いっぱいになりました。何より、たくさんの韓国の方と仲良くなれて本当に嬉しかったです。一生の思い出になりました。ありがとうございました。

・この事業に参加できたことにとっても感謝しています。この6日間で文化や衣食住などの違いを目で見て感じたので、韓国で吸収したことの全てを活かして、今後国際社会で活躍できるような人間になりたいと強く思いました。私は英語の面でまだまだ未熟なので、もっと勉強が必要だと感じました。プログラム全てとても貴重な体験になったので、これからも継続してほしいと思いました。

・本当に毎日が充実した1週間でした。韓国の大企業など、なかなか行けない所に行くことできたのは、本当にいい経験となりました。また、高校生との交流によって、少しだけ韓国語が上達したので良かったです。韓国のことをもっと好きになれました。

・たくさん歓迎してもらったり、何も分からない私たちに優しく声をかけてくれたり、韓国の人々の温かさを感じました。韓国が大好きになりました。これからは、韓国のすばらしさを周りの人たちに伝えたいと思います。

・旅行では絶対に行けない高校訪問などを通して、英語力や知らない人と話す度胸が身に付きました。連絡先を交換できたので、日本に帰ってからもいい交流ができそうです。6日間ありがとうございました！

・すごく不安に思っていたのですが、現地の方にも優しく接してもらえたので、本当に嬉しかったです。ホテル周辺を案内してもらえて、たくさん京畿道の名所を見せてもらったことも印象的です。

・派遣を通して、韓国と英語が大好きになりました。将来は、日本と韓国を繋ぐよう

な仕事に就きたいと改めて思いました。6日間、楽しい派遣をありがとうございました。

・とてもいい経験になりました。これからも、仲良くなった韓国の学生さんと交流を続けていきたいです。

・最初は不安や緊張もあったけど、みんなと仲良くなれてとても楽しく過ごすことができて、6日間がとても短く感じた。機会があればまた参加したいと思った。

・今回、初めての海外で韓国に行くということで、とても緊張しましたが、貴重な体験ができて本当によかったなと思いました。ガイドの学生と楽しく話すことができてよかったです。韓国の歴史を実際に見ることができて、大切な体験になりました。韓国に進出している企業を訪問できて、知ることができてよかったです。

・全てのプログラムがよかったです。またこのような派遣事業があったら、積極的に参加したいです。

・事業に参加してみて、機会があれば来年も参加したいと思ったし、いつか留学したいと切実に思いました。